

市議会 だより

VOL.172

Contents

特集	2
一般質問	4
第4回定例会の議決の概要	16
議会活動レポート	26
市民の声／次回定例会	27

特集

東広島市の保育の現状と課題



坪井議員、谷議員が聞く

東広島の 保育の現状と課題

表紙写真／話をお聞きした皆さん

今回は、「東広島の保育」をテーマに、認定こども園、保育園の皆さんに保育の現状、子ども達の未来についてインタビューしました。

プロフィール



認定こども園
サムエル西条こどもの園
園長 松村 ひとみさん



にじior保育園
園長 白野 裕康さん



八本松あおい保育園
園長 景山 ちなみさん



認定こども園さざなみの森
園長 難波 元貴さん

子どもたち一人ひとりを大切に 保育をしていきたい

Q 園の特徴と自己紹介をお願いします。

日野 一人ひとりの子どもを大切に
する保育を掲げ、「にじior」という
名称も、一つ一つの個性、色を大事
にしたいという思いからつけていま
す。西条に

待機児童解消の社会貢献を、と
いうことで園を運営させていた
だく運びとなりました。市の子
育て支援もしっかり行っていき
たいと思います。

景山 子ども一人ひとりを大切
にし、保護者から信頼され、地

域に愛される保育園を目指して
います。子どもと同じ目線に立
つことを大切にしていこうと保
育士と一緒にやっています。

難波 自然豊かな里山で子ども
達がおもいっつきり遊べる環境を
探し、38年前に現在の場所をみ

つけて、幼稚園としてスタート
しました。その後、6年前に幼
稚園機能と保育園機能と子育て
支援機能をあわせ持つ、東広島
で最初の認定こども園に移行し
ました。そして、全ての子ども
を対象とする施設になりました。

松村 キリスト教保育の園です
ので、「自分を愛するようにあ
なたの隣人を愛しなさい」とい
う聖書の言葉が理念です。また、
大規模であることのメリットを



- ① インタビュー風景
- ② にじいろ保育園
風船で遊ぶ子ども達。
- ③ 八本松あおい保育園
イスとりで遊ぶ子ども達
- ④ 認定こども園さざなみの森
園庭で遊ぶ子ども達
- ⑤ サムエル西条こどもの園
園庭で遊ぶ子ども達

生かして、園自体の保育の質を上げていこうと一生懸命取り組んでいるところです。

Q 家庭での子育てとの関係は。

難波 子育ての基本は家庭にあります。ただ、家庭でできない社会的な環境の中で育ちあうという体験の場が、園であると思っています。

松村 入園中に第2子、第3子が生まれ退園になる方がいます。

家庭で子どもとしっかりかかわり合うチャンスと思う一方で、子育ての大変さを抱え込んでしまつという両面あり、難しいと思います。

Q 保育現場での課題や必要なことを教えてください。

日野 この園も保育士確保に苦労されているとおもいます。東広島市では、職務奨励金などの手当があり、助かっています。
松村 職務奨励金は自治体により差があつて、地域差が出ることもありますね。

日野 住宅借上げに補助があるのですが、法人で借りる必要が

あるので、使いづらく感じます。
難波 長く勤めてもらう仕組みづくりが必要な中で、借り上げ制度が5年という期限は短いと思います。

松村 保育士の確保でいえば、保育士自身の出産、子育てもあり、無理のない範囲で園に戻って働いてもらいたいと思っています。

景山 母親になって戻る保育士は、子どもの見方もすごく丸くなつていて、こついった保育士が増えてほしいです。

難波 乳児の待機児童の解消には、既存の幼稚園などを活用する手立てを考へることも有効ではないかと思っています。

松村 保育士の給与も一般の給与と比べると低いですよね。男性保育士も勤めたいけど続けられないといったこともあります。
難波 国の制度を活用しながら、いろんな人がかわる、子ども達にとって豊かな環境をつくる保育施設の「東広島モデル」が生まれるといいですね。



おくやま もとむ
奥谷 求
(創志会)

質問した項目

- 地方への新しいひとの流れをつくる施策について
- 農業政策について
- 国（機関）・県との連携について

情報先取！新たな施策へ 果敢にチャレンジを

地方への新しい人の
流れをつくる施策

質 問

観光による地方創生・地域活性化の一層の推進を図るため、①^{※1}地域DMO候補登録②^{※2}MICEの誘致推進③^{※3}大
学連携型CCRCの構築に
ついて問う。

答 弁

藏田市長
榎原副市長

①行政としての支援は必要であると考えているが、民が主体となった動きが何よりも重要であると考えている。

②宿泊施設や会場の不足等の課題もあるが、広島市などと連携し互いの役割を分担するのの一つの方法ではないかと考えている。

③健康・医療・福祉系の総合大学である広島国際大学の存在を生かし、都市圏からの移住のみではなく、大学キャ

ンパス等での学び直しや、健康面への関心を高め健康寿命の延伸につながるような取り組み等を進めることで地域にとってもメリットが生まれるようなものにしていきたい。

本市の特性を生かした農業施策の実行！

質 問

「強み」のある農林水産物の創生を進め、ブランド力向上を図る手段として、原産西条柿などに^{※4}地理的表示保護制度を活用することを提案する。

答 弁／前藤産業部長

新年度の事業として、県補助金を活用した東広島市農林水産物ブランド構築事業を実施する。これにより抽出された商品が、今後、国の地理的表示登録産品に登録されることを目指すことで、ブランド力の向上を図りたい。

**自衛隊組織との相互
協力・支援の強化を**

質 問

国防のみならず、災害救助等にも携わっている自衛隊との相互協力を強化し、自衛隊活動への理解向上への取り組みについて問う。

答 弁／前延総務部長

自衛隊には本市防災会議委員に就任いただいております。防行政全般に助言・協力をいただくとともに、平常時から顔の見える関係を構築している。

市民には、総合防災訓練などの機会を通じて、その活動をより身近に感じていただくよう工夫したい。



東広島市総合防災訓練

※1 地域DMO…地域にある観光資源に精通し、地域と協働した観光地域づくりを、基礎自治体（市）の区域一体において行う法人。
 ※2 MICE…M（ミーティング）、I（インセンティブツアー）、C（コンベンション）、E（エキシビジョン）の頭文字をとったビジネストラベルの一つの形態で、一般の観光旅行に比べ消費額が大きい。
 ※3 CCRC…健康時から地方に移住し、安心した老後を過ごすことを目的とした地域共同体。
 ※4 地理的表示保護制度…地域で育まれた伝統を有し、高い品質等の特性が生産地と結びついている農林水産物や食品の名称（地理的表示）を保護する制度。



谷 晴美
(日本共産党)

質問した項目

- 平和行政について
- まちづくりについて
- 汚水対策について
- 小学校施設適正化計画と高美が丘・志和小中一貫教育計画について

戦争のない平和で安心なまちづくりの行政を！

核兵器廃絶署名決議に積極的な推進を

質問

市としてイベント等で署名する場所を設置するなど、市民が気軽に参加できる環境を積極的に整えるべきであるが、考えを問う。

答 弁／前延総務部長

この度、平和首長会議の国内加盟都市会議において、国



核兵器廃絶署名用紙

内外9名の被爆者が提起された「ヒバクシャ国際署名」へ賛同・協力することが決議されたことを受け、本市においても、この署名活動について、市民へ広くお知らせする準備を進めている。

浄化槽の維持管理・法定検査は市の責任

質問

法定検査の目標は100%のほ
ずである。受検率100%への取
り組みと対策をもっと積極的
に講じてほしい。

答 弁／古川生活環境部長

現在、広島県廃棄物処理計画において、平成32年度末までに概ね75%まで向上させるという県内目標が設定されており、本市も当面はそれを目標としているが、法定検査の実施は法律で定められており、受検率100%が最終目標である。今後も関係機関との連携を図りつつ、これまでの取り組みをさらに強化するとともに、市民には浄化槽の法定検査の必要性について、維持管理講習会の実施や広報誌等を通じて、わかりやすい周知・啓発に努め、受検率向上を目指していきたい。

小中一貫教育の疑問を地域に説明を！

質問

小中一貫校にはメリットがないという専門家もいる。小中一貫教育の影響をしっかりと地域に説明すべきであるが考えを問う。

答 弁／津森教育長

小中一貫教育については全国的な関心を呼んでおり、大学をはじめ、いろいろな方々が研究を行っている。さまざまな主張もあるが、教育委員会としては文科省を中心とした公的な答申内容を基本に、この事業を進めている。小中一貫校は市内にはまだ一つもなく、当然保護者には不安や疑問な点はあるかと思う。そうした点は、できるだけ具体的なプランを示す中で、長所は長所あるいは課題は課題として、丁寧に説明をしていきたい。



坪井 浩一 (創生会)

質問した項目

■安心安全なまちづくりについて

安心安全な まちづくりについて

防犯カメラの設置状況 について

質問

JRの各駅への設置により
安心安全な空間の確保が図ら
れているが、設置の範囲を広
げる計画はあるのか問う。

答 弁／前延総務部長

現在市内9駅に13台を設置
している。本年度は来年春に
開業するJR寺家駅の南北口



東広島駅設置の防犯カメラ

2カ所のほか、酒蔵通りのポ
ケットパーク、鏡山公園の入
り口、西条下見の広大北口交
差点付近の計3カ所への設置

を進めている。また、来年度
以降の設置計画については、
未設置地区を中心に検討して
いる。

農業用ため池の調整池 機能について

質問

西条ICから寺家にかけて
の一带の近年の開発は著しく、
保水能力に優れた水田のほと
んどを取り込んだ状態での開
発である。この区域には、水
田がなくなること目的を失
い、埋め立てられたため池も
ある。農業用としての機能を
失いつつあるため池の管理や
今後のありようについて、見
解を問う。

答 弁／藏田市長

当該地域のため池について
は、洪水の調整能力、下流域
への影響、調整池としての必
要性等の調査を予定しており、
その結果に基づき、本来ため
池が持つ洪水調整機能を確保

しつつ、有効活用について方
針を決めていきたい。

予防の重要性について

質問

現在、女性団員などが行っ
ている予防活動に加えて、こ
れまで以上に消防団全体で予
防活動を積極的に行うことが
できないか問う。

答 弁／林消防局長

今後、地域の防災力の充実
強化を図っていく上で、消防
団の役割は大きく、消防局と
連携を図りながら、地域の防
災訓練や高齢者への防火指導、
学校での啓発行事等、各種行
事に積極的に参加するなど、
地域に密着した多様な活動を
行い、災害に対する日ごろの
備えや予防の重要性について
教育、指導できる体制を構築
し、市民や地域のニーズに応
えていかなければならないと
考えている。



たけがわ ひであき
竹川 秀明
(公明党)

質問した項目

- 「大学連携型CCRC」について
- 災害発生時における避難所運営について

大学連携型CCRCと 災害時の避難所運営

広島国際大学と市の

CCRC基本構想の検討は

質問

日本版CCRCについて、目指すものとして、高齢者の希望の実現、地方への人の流れなどの観点から、CCRCの意義及びターゲットをどのように考えているのか。

また、本市の大学連携型CCRC基本構想について、広島国際大学と、どのような検

討がされているのか。

答 弁

藏田市長
西村政策企画部長

自治体間競争が広がる中、有効な手段の一つと捉えて、CCRCの構築に向け研究を進めている。具体的には、健康福祉や介護予防のまちを将来像として、移住者のみではなく、地域に目を向け、住み続けたいと思える環境の構築が重要であると考えている。

検討状況については、引き続き情報を収集し、本市に合ったモデルを設定するなど、完成を目指している基本構想策定につなげていきたい。

避難所運営マニュアル整備 と生活環境の確保は

質問

内閣府が公表している「避難所の良好な生活環境の確保に向けた取り組み方針」には、避難所を立ち上げる手引の整備が必要であるとなっている。近年の災害多発の状況に対し、市の整備状況を問う。

また、避難所の良好な生活環境の確保に向けた取り組み

方針に、地域住民も参加する訓練を実施するとなっているが、訓練の実施状況を問う。

答 弁 / 前延総務部長

避難所は、避難所班を中心に開設や運営を行っており、誰もが対応できる運営手順をマニュアル化している。また、地域において整備されたマニュアルを参考に、全市的に活用可能なマニュアルの精査を進めている。

避難所設営の訓練の実施状況は、社会福祉協議会と連携し、実際に過去の災害において避難所で発生したことをカード形式で体験できる避難所運営ゲームを自主防災組織などで実施している。また、総合防災訓練において、複数の自主防災組織が協力し、避難所運営訓練を実施した。





たかはし のりひろ
高橋 典弘
(威信会)

質問した項目

- 多様な働き方創出及び定住移住対策
- 定住移住対策及び企業誘致事業

多様な働き方創出と定住移住対策を急げ!!

ふるさとテレワーク事業の推進策は？

質問

ふるさとテレワーク事業は、まち・ひと・しごと創生総合戦略の重要なツールだが、国の動きに対して共通認識がなさ過ぎるのではないか。全国では、果敢に事業展開を進めているが、予算づけを行う時期、どのように位置づけて事業を進めていくとするのか。

答 弁／藏田市長

国の新たな補助事業の情報を積極的に入手し、地方創生応援税制、いわゆる企業版のふるさと納税の活用も視野に入れ、幅広く財源を確保できるように、国の方針に遅れることなく全庁的に推進したい。
サテライトオフィス事業の推進を急げ

質問



国は企業に対して、積極的な呼びかけをはじめ補助体系も整えているが、サテライトオフィス誘致企業の取り組みについて、どのように考え、どのようなアクションを起そうとしているのか。

答 弁／榎原副市長

本市においても、産業構造の複層化に向けた企業誘致の必要性や、事業用地が不足している状況から、研究機関や情報関連企業のサテライトオフィスなどの誘致が必要である。

と考えており、広島中央サイエンスパークの貸研究室や遊休公共施設や空き家等を有効活用した誘致活動を推進していきたい。
お試しサテライトオフィス事業について

質問

総務省では基本ニーズ調査の実施などの支援を行っている。独自でサテライトオフィス事業への着手が困難であれば、こういった制度を活用して着手していくことも有効ではないか。

答 弁／榎原副市長

お試しサテライトオフィスなどの国の制度活用は予定してないが、今後も、現在の取り組みに注力するとともに、国の動きについても、情報の収集に努め、本市へのサテライトオフィスなどの企業誘致に積極的に取り組んでいく。



きたばやし みつあき
北林 光昭
(創生会)

質問した項目

- 東広島市の保育に係る諸問題について
- 東広島市の児童生徒の読書活動推進について

保育と学校図書館の充実を

待機児童問題の
速やかな解決を！

質問

昨今の傾向は、保育所等への入所を希望される児童の低年齢化に拍車がかかりつつあるということも聞いています。待機児童について、施設に余裕がないわけではなく、保育士が不足していることが理由となっている。不足している原因と取り組みを問う。

答 弁／石原こども未来部長

保育士不足の原因は、専門職でありながら給与が低いこと、離職するとランクに対する不安から再就職を躊躇することなどが考えられる。これらに対し、就業継続や復職支援を実施しており、特にマッチングの場として、保育士就職セミナーを実施し、一定の手応えを感じている。これに加え、保育士養成校を

訪問しての就職促進など、保育士確保に努めている。そのほか、保育士の処遇を改善する職務奨励費などの民間保育所の保育士確保に向けて支援を行っている。今後は、離職防止のための研修会の実施など環境づくりにも努める。

学校図書館の
あるべき姿とは

質問

市立図書館民営化後、小中学校の読書活動を支援していくために、学校図書館支援セ

ンターが設置されているが、学校側に目を転じてみれば、相変わらず学校司書は中学校だけに配置し、小学校には義務化された司書教諭の配置にとどまっている。学校図書館支援センターと中学校・小学校専任配置司書が三位一体として機能すれば、読書活動推進事業は飛躍的な成果を上げることができるのではないか。

答 弁／天神山生涯学習部長

小学校における学校司書の配置は、読書活動の推進に効果があると考えており、配置について検討している。また、学校図書館支援センターと学校司書の連携については、現在も、学校司書連絡会等で協議することにより、児童生徒の読書活動の推進等について連携を深めている。このような連携は、読書活動を推進する上で非常に大きな役割を担っていると考えており、今後も継続して実施する。



子どもの読書活動推進計画（第二次）



しげみつ ときじ
重光 秋治
(威信会)

質問した項目

- 自治体の国際化について
- 障害者支援について

自治体の国際化を積極的に 押し進めよ！

多文化共生環境づくり の進展を問う

質問

- ①本市の国際交流に関する取り組みについて問う。
- ②外国人市民への支援体制を問う。

答弁

藏田市長
西村政策企画部長

- ①本市と友好親善都市を提携している中国四川省徳陽市

とは定期的な交流を、ブラジル、サンパウロ州マリリア市とは随時交流を行っている。一方、アメリカ、バーニアビーチ市は、ここ数年、相手方の事情等で交流は行っていない。

- ②サンスクエア東広島内での3か国語対応の相談員による生活相談窓口の開設、法律相談の実施、学齢期の子どもを対象とした日本語及び教科学習支援への取り組み

み、今年度から小中学校への通訳・支援員の派遣などを行っている。また市役所に、英語・中国語で対応可能な嘱託員を配置し、各部署の業務通訳・相談業務の補助なども行っている。

国の制度を有効活用し 国際交流推進を！

質問

- ①ALTの活用状況
- ②国際的な視野を持った職員
の育成方針を問う。

答弁

津森教育長
前延総務部長

- ①本市ではALT6名、外国

語の指導助手13名を活用し、授業を行っている。

- ②広島県市町職員海外派遣研修を活用し、毎年、職員を派遣している。今後も、国際的な素養を持った職員の養成に取り組んでいきたい。

障害者への理解を市民 に広げよう

質問

- 障害者への窓口対応の体制と障害者理解への取り組みを問う。

答弁

増田健康福祉部長

寄り添うという姿勢を常に持ち、思いやりのある窓口対応を目指している。第3次東広島市障害者計画において、理解・交流や差別解消・権利擁護などの具体的な施策の方向を定めているところである。



小学校でのALTの授業



みやかわ やすこ
宮川 誠子
(威信会)

質問した項目

■世界の潮目は変わった、日本型
共同体の再興を！

世界の潮目は変わった
日本型共同体の再興を！

合併10年を検証する
―村落共同体を守れ―

質問

合併後に新たな賑わいづくりに成功した地域は市民満足度が向上し、賑わいができていない地域は低下している。人の流れを呼び込む賑わいづくりや入札制度の工夫による公共経費の地域への投下の仕組みづくりにより地域経済を回し、村落共同体を守る必要

がある。考えを問う。

答 弁／藏田市長

地域経済については、グローバル化の中で、行政単独での取り組みでは大きな成果を上げることが難しい状況であることや、地域経済の好循環を生み出すには担い手の活躍が不可欠であることから、熱意ある地域や事業者の方々へ、適時、支援をさせていただき、個々の取り組みを重ね、

にぎわいの創出や地域経済の活性化を図っている。引き続き、市街地の機能強化を図ることにより、本市の成長を牽引するとともに、その効果を周辺地域に再配分することも必要であると考えている。

日本の共同体文化が
日本の製造業の強み

質問

日本の製造業はとてつもない強みを持っている。他国では生産していないので、日本で買うしかないハイテク部品が増えている。顧客の必要とするモノをつくるためには、

分野を超えたベテランが集まり、匠の感覚知を合成しあって本質を追究するしかなく、それは「場所」にどっぷりつかって長年仕事をしあっている日本型共同体でないとできないと前川正雄氏が言われている。日本の製造業の強みは世界のハイテクセンターになる可能性を秘めており、製造業のまちとして本市の将来性にもつながる。そのためにも、日本型共同体の再興を急ぐべきと思うが考えを問う。

答 弁／榎原副市長

社会経済システムの好循環により都市としての機能を強化するとともに、市民が相互に、また、市民と行政が相互の信頼と理解のもと、お互いの特性や能力を生かしながら連携・協力することで交流が活性化し、温かな地域コミュニティが形成される「まち」を目指して、さらなる発展に向けた取り組みを進めていく。



株式会社前川製作所東広島工場



なかがわ おさむ
中川 修

(市民クラブ)

質問した項目

■東広島市交通安全計画について

東広島市の交通安全計画について

高齢化する自動車運転の安全対応は？

質問

高齢者の安全運転に対してどのような施策を行おうとしているのか、また免許の返納に対して優遇制度はあるのか。

答 弁／藏田市長

現在、市内自動車学校での参加型交通安全教室等を開催している。今後、高齢者が安

心して生活が続けられる環境づくりを進めていくためにも、公共交通や高齢者の支援施策

等も含めた、関係部局による横断的な取り組みが必要と考
えている。また本市には、免許の返納に対する優遇制度はないが、既存制度として、70歳以上の外出支援を目的としたタクシー割引乗車券の交付や、65歳以上の方に対するコミュニティバスへの運賃の割引制度などがある。

生活道路の歩行者の安全確保について

質問

新規施策、「ゾーン30抑制」とはどのようなものなのか、また、住民が危険と感じている道路にも実施されるのか。

答 弁／前延総務部長

ゾーン30は、警察庁が平成23年9月から取り組みを開始した生活道路対策で、区域を定めて最高速度を30キロに規制し、その他の安全対策を必



高齢者安全運転講習

要に応じて組み合わせ、速度や抜け道として通行する行為の抑制を図るものである。幹線道路に囲まれた生活道路が集まる市街地が対象で、警察主導で地域と協議する場合や地域からの要望を受けて実施される場合もある。

通学路の安全性をより高めるために

質問

通学路は毎年関連機関と定期的な合同点検を行っているが、点検によりどのような改善・成果があったのか。

答 弁／大垣学校教育部長

今年度は、4カ所の合同点検を実施し、それぞれ現状の把握、課題の情報共有を行い、関係機関において対策が検討されている。点検実施により相互に課題の共有を図ることができ、より慎重で細かな検討ができると考えている。



かね よしき
加根 佳基
(公明党)

質問した項目

- 通学路安全対策について
- 入学前児童安全対策について
- 高齢者自動車安全運転対策について
- 動物愛護支援について

通学路安全対策について

安全確保の実効性と地域の連携について

質問

市教員・関係機関・学校及び保護者等による通学路の合同点検を実施されているが、具体的な安全対策を伺う。

答 弁／大垣学校教育部長

市の道路・交通安全関係部署、警察、国、県の道路関係機関で構成する東広島市通学

路安全推進会議を組織し、通学路改善要望箇所について、合同点検の実施や安全対策の検討を行っている。PTAや住民自治協議会の方々のご協力をいただき取り組んでおり、登下校時の学校安全ボランティアの方々による児童への随伴や、危険箇所におけるPTAの方々の見守りにより、安全確認や交通安全指導を行っている。

免許証自主返納の取組みについて

質問

返納者にメリットがある具体的な制度をつくり出す必要があると思うが、見解を伺う。

答 弁／藏田市長

運転免許証を自主返納されても、安心して生活が続けられる環境づくりを進めるため、公共交通や高齢者の支援施策なども含め、関係部局による横断的な取り組みが必要と考えており、今後の対応を検討してまいりたい。



動物愛護支援の政策について

質問

全ての命を守るとの視点で殺処分ゼロに向けた本市の動物愛護支援の政策を伺う。

答 弁／古川生活環境部長

動物愛護の啓発活動に重点を置き、平成26年度から動物愛護ボランティアと共催で保護犬猫の譲渡会を開催し、譲渡以外にも、来場者が現状や動物を飼養するための知識を学ぶ機会を設けている。

平成28年度は、民生委員、児童委員、介護関係者等を対象に、地域の犬猫問題をテーマに講義を実施し、地域住民の協力の必要性、動物の適正飼養に関する知識等を情報共有し、高齢者が抱える犬猫の問題点や解決策について検討している。



なかひら よしあき
中平 好昭
 (誠志会)

質問した項目

■第四次東広島市総合計画後期基本計画(案)海洋交流ゾーンについて

総合計画(案) 海洋交流ゾーンについて

龍王島活用対策について

質問

管理なくしては環境が保てなくなる。施設保全のためには、行政の力は欠かせない。地域も含めた活用対策を問う。

答 弁 / 藏田市長

指定管理者と協議を行い、庁内の各部局による連携を密にさせ、地域の関係団体などとの連携も図りながら、龍王

島自然体験村を利用される皆さま方にとって、満足していただける施設となるよう努めたい。

大芝島へ、体験学習、官民共同の施設は

質問

大芝島近隣の島々と連携した体験学習、官民共同のレクリエーション、交流施設の整備等、地域を活性化する観光

振興施策は考えられないか、所見を問う。

答 弁 / 下田副市長

地域が主体となって地域資源を活用し、そこに暮らす人々と触れ合うことのできる取り組みこそ、他地域からの観光客にとって大変魅力的なものになるのではないかと考えている。今後も積極的に情報発信をし、官民連携による海洋レクリエーションの推進に取り組むことにより、交流人口の増加による地域の活性化に努める必要がある。



三津湾の牡蠣筏 (安芸津町)

干潟土壌改良に取り組む必要がある

質問

干潟に栄養分が十分であれば多様な生物の生息が育まれ、稚魚等が大きく育つ。豊かな海を取り戻すには年月が必要だが、市民の交流の場として資源を有効に活用することを踏まえ、干潟の改良・再生に取り組んでいただきたいと思うが、所見を問う。

答 弁 / 古川生活環境部長

一朝一夕に成果の出るものではなく、費用対効果の検証なくしては、事業実施に向けた取り組みは難しいと認識をしている。干潟の区域を定め、産学官の連携により、三津湾の環境改善にはどの方法が最も適しているのか慎重に議論を重ね、豊かな海へとつなげるため、長期的な視点で、今後の方向性を検討したい。



あまの まさかつ
天野 正勝
(創志会)

質問した項目

- 新地方公会計について
- 第四次東広島市総合計画後期基本計画（案）について

マネジメント力強化と説明責任の遂行に向け

企業会計方式フル活用による組織力強化

質問

総務省は、平成29年度までに全自治体に統一的基準に基づく新地方公会計の導入を打ち出し、マネジメント力を高め、説明責任の充実を進めている。対応状況を問う。

答 弁／倉本財務部長

平成29年度から作成予定で、

質問

交通結節点構想への期待と高速性の両立

新システムを構築し準備している。財務分析の高度化を図り、公共施設や未収債権などの資産管理、事業別等のセグメント分析の予算編成への活用などにより、財政運営に関するマネジメント力を高め、財務体質の改善や財政運営の適正化、効率化に努める。

市内4力所に交通結節点を設け、公共交通網の効率化と充実を図ることは、合理的で大いに期待するが、乗り換えを前提とする構想では高速性に弊害が生じやすい。交通結節点の施設イメージと高速性の確保に対する考えを問う。

答 弁／榎原副市長

交通結節点施設のイメージは、バリアフリー化された方面別の乗り場、上屋や駐輪場を設け、待合室やトイレの設置など安全で安心して待てる空間となるよう工夫したい。高速性については、ピーク時には直行便を残し、利用者の利便性が低下しない工夫を施したい。

企業誘致に関する現状把握と環境整備！

質問

企業誘致のためには、多面的で正確な情報把握が市の発展可能性をより高める鍵にな

る。進出環境の整備として高速道路の有効的活用もその一つである。パーキングエリアへのスマートインターチェンジの設置は、経済効果は極めて高いと捉える。考えを問う。

答 弁／藏田市長

毎年企業訪問により企業ニーズの把握に努めている。スマートインターチェンジの設置は効果的であるが、十分な社会便益が確実であることが設置要件である。新たな産業団地の候補地検討や企業誘致に合わせ、社会便益を勘案し、一体的に検討したい。

東広島市／製造業・貨物輸送業 分布一覽
＜平成26年経済センサス＞

町 区	全製造業		道路貨物運送・倉庫業		合 計	
	事業所数計	従業員数計	事業所数計	従業員数計	事業所数計	従業員数計
宮島町	63	1,577	6	56	69	1,633
河内町	28	463	9	454	37	917
高屋町	72	2,328	13	113	85	2,441
瀬戸町	194	2,663	34	667	228	3,330
西条町	131	3,475	56	1,013	187	4,488
高知町	125	2,651	41	1,298	166	3,947
八本松町	119	8,084	27	409	146	8,490
福富町	24	276	4	33	28	309
藍川町	31	498	3	26	34	524
計	787	22,015	193	4,064	980	26,079

現状の東広島市／製造業・貨物輸送業分布

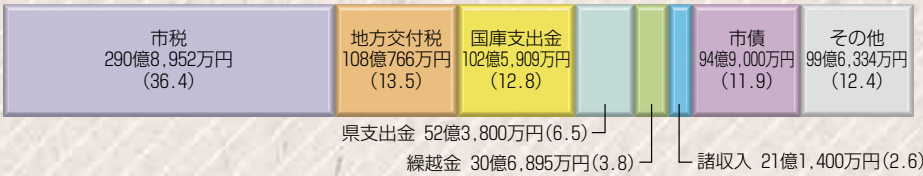
第4回定例会

(会期：平成28年11月25日～12月16日)

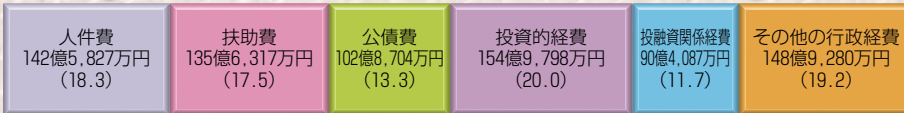
議決した案件

- 条例案…9件
 - 予算案…8件
 - 決算案…2件
 - その他…30件
 - 委員会提出議案…1件
- (● 全会一致可決…40件 ● 賛成多数可決…10件)

一般会計歳入(カッコ内は構成比)



一般会計歳出(カッコ内は構成比)



平成27年度に実施した主なもの

小学校の分離新設	16億1,592万円
放課後児童クラブ運営の充実	3億9,492万円
寺家駅周辺市街地の整備	4億4,806万円
ごみの資源化及び減量化の計画的な推進	27億5,072万円
農業の担い手育成	2億 741万円
芸術文化ホールの整備等	44億8,239万円
地域センター管理運営・改修	6億3,665万円

Pick Up

平成27年度決算を認定

一般会計

収入済額 800億3,056万円 (前年度比0.6%増)
支出済額 775億4,012万円 (前年度比1.4%増)

◎ 決算特別委員会での討論
(9月16日～10月3日)

反対討論 谷委員

安倍政権は地方再生アベノミクスを実行しているが、子ども子育て新システムで保育料が引き上げられるなど、社会保障のさらなる切り捨て、雇用破壊、TPP参加のための支援策では、地方の衰退を加速させるものである。このために、市民の言いなりではなく、市民の苦しみを解決し、暮らし応援の予算へと反映すべきだったと考え反対する。

賛成討論 石原委員

経常収支比率が前年度に比べて2.2ポイント改善されており、健全な財政運営に努めている。国民健康保険税も含め水道事業の収納対策についてもそれぞれ前年度を上回る収納率となっている。これは特に部局間で連携して、滞納整理を行われている成果であり、本決算認定に賛成する。

Select.1

〈議案第149号〉

西条町寺家の一部を「住居表示を
実施する市街地」に定めます

西条町寺家の一部の区域を、新たに住居表示を実施する市街地の区域に定めるとともに、その区域における住居表示の方法を「街区方式」とすることになりました。

◎住居表示とは

住居表示に関する法律（昭和37年5月10日公布、施行）に基づき、建物等に新しく番号を付け、住所を分かりやすく表す制度です。

住居表示で住所を表示する場合、町の境界線をわかりやすく区切り、建物等に対して一定の基準で新しい番号をつけること（街区方式）で、町全体の整理をすることが可能になります。

◎今回のポイント

- ①今後、「住居表示を実施することができ区域」に西条町寺家の一部を追加しました。
- ②今後、この地域で住居表示を実施する時は「街区方式」で行うこととなりました。



開発が進む新たに定められた区域

Select.2

〈議案第151～162号〉

市内12地域センターの
指定管理者を指定しました

地域センターは、まちづくり活動の拠点施設であり、地域に密着した施設であることから、地域住民の自主性と責任に基づいて管理するよう、それぞれの地元住民自治協議会を指定しました。

施設の名称	指定管理者
吉川地域センター	吉川村づくり推進委員会
志和堀地域センター	志和堀小学校区住民自治協議会
造賀地域センター	造賀地区自治協議会
上戸野地域センター	上戸野地区住民自治協議会
清武西地域センター	清武西住民自治協議会
清武地域センター	清武住民自治協議会
安宿地域センター	あすか住民自治協議会
乃美地域センター	乃美別府住民自治協議会
能良地域センター	能良振興協議会
吉原地域センター	吉原振興会
入野地域センター	入野自治組織『篁の郷』
木谷地域センター	木谷自治協議会

指定期間はいずれも、平成29年4月1日から平成34年3月31日までの5年間です。

Select.3

〈議案第163～171号〉

福富物産しゃくなげ館などの
指管理者を指定しました

福富物産しゃくなげ館などの、農畜産物に係る加工所、直売所及び集出荷施設9施設について、地域に密着した施設であることから、平成29年度以降も引き続き、地元農業者団体等を指定管理者として指定しました。

施設の名称	指定管理者
福富物産しゃくなげ館	福富物産しゃくなげ館運営協議会
とよさか農畜産物処理加工センター	農畜産加工センター運営委員会
とよさか伊尾集出荷センター	伊尾営農集団組合
とよさか吉原集出荷センター	神村振興会
とよさか四季菜館	豊栄四季菜館
こうち寄りん菜屋	こうち交流促進施設運営協議会
こうち小田農産物処理加工センター	小田農産物加工部会
こうちそば加工センター	宇山東営農組合
安芸津農産物加工センター	赤崎農業経営改善組合

指定期間はいずれも、平成29年4月1日から平成34年3月31日までの5年間です。

Select.4

〈議案第172号〉

道の駅湖畔の里福富の
指定管理者を指定しました

東広島市道の駅湖畔の里福富の指定管理者を公募した結果、2者からの応募があり、指定管理者候補者選定審査会において、オスカー管財株式会社（西条町助美）が選定されました。

◎指定期間

平成29年4月1日から
平成34年3月31日まで
(5年間)

◎選定審査基準

- ① 利用者の平等な利用を確保、サービスの向上
- ② 施設の効用を最大限に発揮し、管理経費を縮減
- ③ 事業計画に沿った管理を安定して行う能力
- ④ 施設の設置目的を達成するための能力



道の駅
湖畔の里福富

国道375号線バイパスに面し、県営福富ダムの湖水に周囲を囲まれる景観に恵まれた場所に位置している。

Select.5

〈議案第176号〉
**(仮称)寺西第二小学校屋内
 運動場の新築工事について**

平成28年度小学校新設事業、(仮称)寺西第二小学校屋内運動場新築工事(建築)の請負契約の締結について可決しました。

◎契約の内容

工事の内容	建築一式工事 屋内運動場 鉄筋コンクリート造り一部鉄骨造り 平屋建て 延べ面積 1,382.44㎡
契約金額	4億247万9,280円
相手方	河井建設工業株式会社



(仮称)寺西第二小学校完成予想図

Select.6

〈議案第179号〉
職員の給与に関する条例を改正

国家公務員の一般職の職員の給与の改定に合わせ、本市職員の給与(給料・勤勉手当・初任給調整手当・扶養手当)改定等を行うため、職員給与に関する条例を改正しました。

◎主な改正内容

◎勤勉手当

区分		6月期	12月期
28年度	勤勉手当	0.80月(支給済み)	0.90月(+0.1)
29年度	勤勉手当	0.85月(+0.05)	0.85月(+0.05)

◎扶養手当

年度		H28	H29	H30	H31以降
扶養親族	子	6,500円	8,000円	10,000円	10,000円
	配偶者	7級以下	13,000円	10,000円	6,500円
8級		13,000円	10,000円	6,500円	3,500円
上記以外の親族	7級以下	6,500円	6,500円	6,500円	6,500円
	8級	6,500円	6,500円	6,500円	3,500円

Select.7

〈議案第184号〉

「東広島市公共下水道条例」等の一部を改正しました

東広島中核工業団地汚水処理施設を廃止し、公共下水道への接続を開始することに伴い、東広島市公共下水道条例等の一部を改正しました。

◎主な改正内容

- ① 東広島中核工業団地汚水処理施設を廃止する
- ② 廃止する施設が処理していた区域は、新たに白市高屋台処理分区の公共下水道へ接続し、それに伴い、区域外流入分担金として、1平方メートル当たり900円徴収する。

○背景

東広島中核工業団地汚水処理施設は平成4年6月に供用開始しており、24年経過しています。今後の改修や維持管理も踏まえて、経済比較等を行った中で、公共下水道へ接続するほうが、市にとって費用的に優位な面が出るという結果になり、県との協議をした結果、公共下水道へ接続することになりました。

Select.8

〈議案第187号〉

平成28年度東広島市一般会計を増額

平成28年度東広島市一般会計の歳入歳出予算、債務負担行為、地方債を補正し、繰越明許費の設定を行いました。

◎一般会計補正予算の概要

	補正内容
歳入・歳出	総額772億6,491万4千円(16億2,271万6千円を増額)
繰越明許費	15事業(臨時福祉給付金支給事業等)を追加
債務負担行為	6件(市民文化センター空調設備取替工事等)を追加
地方債	3事業(農業施設整備事業等)を変更

◎主な歳出の補正内容

- 特定国立研究開発法人理化学研究所の一部機能の移転に要する経費の追加
- 人事院勧告への対応
- 障害福祉サービスの見込み量の増に伴う給付費の増額
- 寺家駅駅前広場の整備に要する経費の増額



完成が間近にせまる寺家駅

議案の審査経過

表決が分かれた案件の表決結果

議案番号▶		議案第143号	議案第144号	議案第172号	議案第176号	議案第177号	議案第178号	議案第180号	議案第184号	議案第187号	委員公倫提出 議案第6号
会派名	議員名										
創生会	岩崎 和仁	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	貞岩 敬	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	岡田 育三	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	坪井 浩一	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	北林 光昭	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	加藤 祥一	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	重森佳代子	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	池田 隆興	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	鈴木 利宏	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
威信会	重光 秋治	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	宮川 誠子	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	杉原 邦男	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	高橋 典弘	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	山下 守	議	議	議	議	議	議	議	議	議	議
創志会	牧尾 良二	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	天野 正勝	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	大道 博夫	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	玉川 雅彦	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
公明党	奥谷 求	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	加根 佳基	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	竹川 秀明	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
市民クラブ	小川 宏子	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	中川 修	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	石原 賢治	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
誠志会	赤木 達男	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	乗越 耕司	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	中平 好昭	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
日本共産党	梶谷 信洋	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	谷 晴美	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
街おこしめがず会	大谷 忠幸	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※ 「議」は議長、「○」は賛成、「×」は反対、「欠」は欠席、「除」は除斥になります。

本会議の討論

反対

谷 晴美議員

●議案第143号(平成27年度東広島市歳入歳出決算の認定)

広島中枢連携都市の締結で、

人口の過疎と過密がますます広がる契機になる。貧困と格差の広がり、自殺者数、使用料・利用料・国保税の滞納にあらわれており、積み立てられた基金

の活用で、税金の引き下げ、医療の負担の軽減を図るべき。新たな大型事業、内需を図るのではなく、市内産業の活力を呼ぶことに転換すべき。防災計画を抜本的に見直し、多くの市民の合意を得るための方策を図る必要がある。これらの理由から反

対する。

賛成

宮川 誠子議員

くららの新設、寺西第二小学校の建設といった大型事業を行っているにもかかわらず、起債残高をふやしていないという非常に健全な手がたい財政運営

がされている。この10年でも起債残高は減っており、健全な運営がされていることを評価したい。委員長報告の中で種々指摘する事項はあったが、認定に至らないという理由はなく、賛成する。

●議案第144号(平成27年度東広島市水道事業会計利益の処分及び決算の認定)

反対 谷 晴美議員

議案第143号と同様の理由で反対する。

賛成 加藤 祥一議員

水需要の減少から、苦勞されている中で、建設改良積立金を6億数千万円積み立てて、今後の管路更新に充てることとされており、これは健全な経営があつてこそできるものだとして賛成する。

●議案第172号(道の駅湖畔の里福富の指定管理者の指定)

反対 谷 晴美議員

指定管理者制度は契約期間が

短く、長期的な取り組みが難点であり、道の駅も商品開発、人材育成など、10年、20年といった期間で取り組むべきだが、優秀な人材の採用も5年間の期限つきでは、難しいのが実情である。スタッフの大半は非正規雇用となり、こうした状況で、地域の発展に役立つ本格的な取り組みや設備投資には限界があり、指定管理者が責任を押しつけられることにもなる。長期展望に立った計画とはならず、雇用も定着しやすい環境とは言えず、反対する。

●議案第176号(仮称)寺西第二小学校屋内運動場新築工事(建築)請負工事の契約)

反対 谷 晴美議員

(仮称)寺西第二小学校建設問題に関して、市民が提訴され現在も決着がつかないままであり、市民は着々と既成事実が積み上がっていることに大変不満な声も上がってきている。北海道二セコ町のまちづくり条例の

ように、計画書の段階で多くの住民が参加できるような仕組みをつくるなど、必要だと考えている。建設問題に代案も示されないままここに至っていることは、大変残念であり反対する。

賛成 貞岩 敬議員

寺西小学校の過大規模に伴い、地域住民としては子ども教育に対して一刻も早く教育環境を整えてほしいという願いから、多くの地域住民の方が切に要望しているものであり賛成する。

●議案第177号(寺家地区産業団地造成工事請負工事の契約)

反対 谷 晴美議員

他市においては、公設の団地を造成しても地元雇用につながらず、多くは他町や他市からほとんど自動車で押し寄せ、交通安全対策で大変だという声も聞いている。

本当に地元の経済に雇用がつかないような費用対効果があるのかどうか、大変疑問でもある。

これまでの検証もしつかりするべきであると考え、反対する。

●議案第178号(マイナンバー制度に関する条例の改正)

反対 谷 晴美議員

マイナンバー制度が動き出して1年たつても、自分の番号を知らされず置き去りになっている人がいること自体、制度の深刻な矛盾を示している。福祉利用をする市民が事件に巻き添えになる恐れもまだまだゼロとは言えない。国に対して制度の廃止を求めるべきだと考え、反対する。

賛成 北林 光昭議員

制度導入後大きな混乱もなく、順調に市民生活に溶け込んでいるものと考え。今回、組織間の情報共有のため利用の枠を拡大し、業務の効率化につなげていこうとするものであり、制度発足の経緯からしても極めて自然な流れであり、賛成する。

●議案第180号（特別職の職員等の給与、旅費等に関する条例の一部改正）

反対 谷 晴美議員

市議会議員、市長、副市長、教育長の人事院勧告に伴う期末手当の引き上げが内容に盛り込まれている。少子高齢化、過疎と過密への対応、福祉の充実、今後何十年も続くインフラ等の更新等、本市の課題は大変大きいと考えている。本市は人口が増加しているのに職員数は削減され、仕事量も責任も重くなってきたっており、職員の給与に引き上げ分を上乗せしてでも士気を上げ、山積する課題を解決するのに働いていただくべきと考え、反対する。

●議案第184号（東広島市公共下水道条例等の一部改正）

反対 谷 晴美議員

中核産業団地の汚水対策に老朽化した施設を廃止し、公共下水道で接続する内容が盛り込ま

れている。管路のリニューアル、耐震化への今後の計画を達成するためにも、新たな投資より計画区域を縮小し、市民や企業の満足度を上げることが最重要である。特に、団地の老朽化への対応は、市民に現在検討している全体計画案を示し進めることが大前提であると考え、反対する。

賛成 加藤 祥一議員

本改正案は、中核工業団地にある污水处理施設が老朽化したため、沼田川流域下水道に接続してコスト削減を図るというものである。今後、コスト削減を図りつつ、下水道整備に勢力をつぎ込んでいただきたいことから、賛成する。

●議案第187号（平成28年度東広島市一般会計補正予算）

反対 谷 晴美議員

美術館建設やごみ処理場計画を進める一方で、小学校の耐震化に当たって、地域の拠点を災

害時には避難所になり得る財産を一時しのぎで効率のよいプレハブ対応とするのでは、市民に議論する余地を残さない政策本位の誘導策と判断せざるを得ない。特に、美術館建設問題では、独自調査によると、入場者の予測や維持管理費用、これまで企画された魅力のない所蔵品の内容について、一自治体で建設に手を挙げること自体、無理があると美術関係者が厳しい指摘をしている。違約金を払ってでも建設計画を凍結するべきだという声も上がっている。地域の拠点への手当てに回すことが正しい選択だと思い、反対する。

賛成 宮川 誠子議員

人事院勧告に関するものにあわせて、寺家新駅の駅前広場整備事業や、八本松小学校のグラウンド用地取得造成事業、理学研究所の機能移転等と必要な経費が含まれている。また、東広島市の美術館の所蔵作品は西日本一の所蔵を誇ると言われる

版画、そして陶芸、非常に誇れるものを持っているということを申し添えて賛成する。

賛成 北林 光昭議員

当初予算では予測しがたい事由により新たな財政需要が発生したことによる補正予算である。人事院勧告を反映させた職員給与の改定もさることながら、子育て支援費事業における扶助費の増額と待ったなしの状況であり、補正予算を早急に成立させ、速やかに執行することこそ市民生活を豊かにしていくものと考え、賛成する。

●委員会提出議案第6号（地方議会議員の厚生年金への加入を求める意見書の提出）

反対 谷 晴美議員

市議会で厚生年金加入となれば、地方公共団体の多額の負担も発生する。年金の現状や地方公共団体の事業主負担など、課題の解決なしに賛成できない。

委員会審査概要

総務委員会

●議案第179号（職員の給与に関する条例の一部改正）

Q 給与の改定と扶養手当等の改定が連動しているものか。

A 人事院勧告の性格として、給料の改定だけではなく、公務員の身分に関することなど、幅広い範囲での内容について勧告を行うもので、給与に関する見直しがある一方で、扶養手当の見直しも行うものがある。

●議案第181号（職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正）

Q これまでも職員の介護休暇の制度があったが、これまでの取得の実績はどうなっているのか。

A 合併以降で取得した職員は17人である。また、取得期間は3日から最長では6カ月となっている。

●議案第186号（市議会議員及び市長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部改正）

Q 合併以前からの考え方だと思うが、人口、市の面積を勘案して、適正な金額に見直す必要があるのではないかと。条例制定から20年近く経過しているので、基本的な考え方を選挙管理委員会で検討する。

●議案第187号（平成28年度一般会計補正予算）

Q 職員手当の補正のうち、隔日勤務者の休日勤務手当等の補正金額の内訳は幾らか。

A 時間外勤務手当等6、400万円のうち、隔日勤務者に係る休日勤務手当、夜間勤務手当の額が6、200万円である。

文教厚生委員会

●議案第174号（市民文化センターの指定管理者の指定）

Q 公募状況はどうなっているのか。また、指定の決め手となった特徴的なものは何であったのか。



東広島市市民文化センター

A 2社応募があり、施設の運営体制や組織体制に差が出たものである。

●議案第175号（市民体育施設及びB&G海洋センターの指定管理者の指定）



B&G海洋センター

Q 公募状況はどうなっているのか。また、指定の決め手となった特徴的なものは何であったのか。

A 2社応募があり、ソフト事業の提案に差が出たものである。

●議案第176号（仮称）寺西第二小学校屋内運動場新築工事（建築）の請負契約の締結

Q 入札状況はどうなっているのか。

A 6社応札があり、うち1社が最低制限価格を下回り無効となり、5社のうち最低価格を提示した河井建設工業株式会社となった。落札率は90・2%である。



（仮称）寺西第二小学校完成イメージ

●議案第185号（河戸区民体育館の廃止）

Q 地元住民のコンセンサスはとれているのか。

A 地域行事の利用に係る移転の部分を含めて十分な調整をしている。

市民経済委員会

●議案第151～162号（地域センターの指定管理者の指定）

Q 地域センターと住民自治協議会の連携に課題が生じている地域があると聞いている。指定管理者制度を導入することにより課題の解決につながるのか。

A 住民自治協議会が地域センターの管理者となることで、より両者の連携を図ることができると考えている。

●議案第172号（道の駅湖畔の里福富の指定管理者の指定）

Q 公募に対して何団体から応募があったのか。

A 2団体である。

●議案第189号（産業団地造成事業特別会計補正予算）

Q 志和流通団地造成事業により造成した土地の売り払い金額が増額となった理由は何か。

A 主な要因として、確定測量する中で、50センチメートル未満の法面部分を平地としてカウントしたことで平地の面積が増えたことによるものである。

建設委員会

●議案第184号（公共下水道条例等の一部改正）

Q 東広島中核工業団地汚水処理施設の処理区域の利用者数はどのぐらいいるのか。

A 中核工業団地及び高屋東地区工業団地に34社、従業員として1,252名の企業が立地をしている。

Q 条例改正に至るまでの経緯はどうなっているのか。

A 当該汚水処理施設は、供用開始から既に24年を経過しており、設備等の対応年数を超えた状況である。今後の改修や維持管理等を踏まえて、経済比較等をする中で、沼田川水流の公共下水道へ接続するほうが、市にとって費用的に優位な面が出るといふことで、県と接続について協議をした結果、公共下水道へ接続することになった。



中核工業団地汚水処理施設

東広島市議会活動レポート



総務委員会意見交換会

- ◆開催日：平成28年11月18日（金）
- ◆開催場所：市役所第2委員会室
- ◆相手方：広島大学、広島国際大学、近畿大学工学部、エリザベト音楽大学
- ◆テーマ：大学・地域のマッチングによる地域活性化について

産学官の連携や大学と地域との連携について、市内4大学と意見交換を行いました。



文教厚生委員会意見交換会

- ◆開催日：平成28年11月21日（月）
- ◆開催場所：市役所第2委員会室
- ◆相手方：障害者支援団体等11団体
- ◆テーマ：障害者支援について

障害者支援の現状や課題、今後の取り組みなどについて、障害者支援団体等の代表者らと意見交換を行いました。



市民経済委員会意見交換会

- ◆開催日：平成28年11月15日（火）
- ◆開催場所：市役所第2委員会室
- ◆相手方：観光関係団体、商工関係団体等4団体
- ◆テーマ：東広島の観光について

観光客の誘致や観光イベントなどの課題や今後の展望などについて意見交換を行いました。



建設委員会意見交換会

- ◆開催日：平成28年11月16日（水）
- ◆開催場所：市役所第2委員会室
- ◆相手方：運送業関係団体、障害者支援団体など5団体
- ◆テーマ：東広島市のインフラ整備について

交通結節点や公共交通、道路、バリアフリーなどインフラ整備の課題について、意見交換を行いました。

子育て講座「思春期における親の役目」

のぐち よしこ (八本松町)

子ども達が大人になっていく過程で、誰もが必ず「思春期」を経験し、いわゆる反抗期を迎えることとなります。大人や親に対する不平不満をかかえた子ども達を、どのように理解してあげるかが、親としての大事な役目となってまいります。常に子どもと目線を合わせ、愛情を持って接し、日々の会話を大切に、大きな心で見守ってあげることが大切だと思います。

また、家庭の役目も大切であり、嬉しいことや悲しい事を家族みんなで共有することで「相手を思いやる」気持ちが育まれていくものと思います。子どもの人格を尊重し、常にいっしょに物事を考える姿勢を大切にしていきたいと思います。

市民の声

「The letter from a citizen」

故郷に夢を

あまの ひさし (志和町)

西志和国民学校生え抜きの卒業生ですが、故郷への思い入れには人一倍深いものがありました。48年ぶりにUターンして早くも20年を迎えます。

帰省して一番うれしかったことは私を育ててくれた青年団が残っていたこと一名前は「奥屋すくも会」。現代風に姿形は変わっていても、“先に生まれし者は後を導き、後に生まれし者は先を訪え”精神が引き継がれていることに心底感激したことでした。

定年し 故郷帰れば 青年団
 膾炙かいしゃされた句でもあり、何となく感じてはいましたが、正直わが故郷の事とは思っていませんでした。が、徐々に、徐々に実感させられる度に、何故だ？という強い思いに駆られている昨今です。楽しく、楽しく集える街への変身を！

平成29年第1回定例会の日程

2月

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13 初日	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28				

15日 常任委員会 (議案審査)
 16日 予算特別委員会
 17日 常任委員会 (議案審査)
 18日 予算特別委員会
 20日 予算特別委員会
 21日 常任委員会 (議案審査)
 22日 常任委員会 (議案審査)
 23日 常任委員会 (議案審査)
 24日 本会議 (議案審議)
 27日 本会議 (代表質問)

3月

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

1日 本会議 (代表一般質問) 予算特別委員会
 2日 予算特別委員会
 13日 予算特別委員会
 14日 本会議 (議案審議)
 15日 本会議 (議案審議)
 16日 本会議 (議案審議)
 17日 本会議 (議案審議)

委員会等のインターネット中継

常任委員会や全員協議会の様子が、インターネットライブ中継で視聴できます。市議会ホームページからアクセスできます。

本会議・委員会の傍聴

傍聴は当日議会事務局で受け付けます。ご不明な点は議会事務局 (082) 420-0966へお問い合わせください。

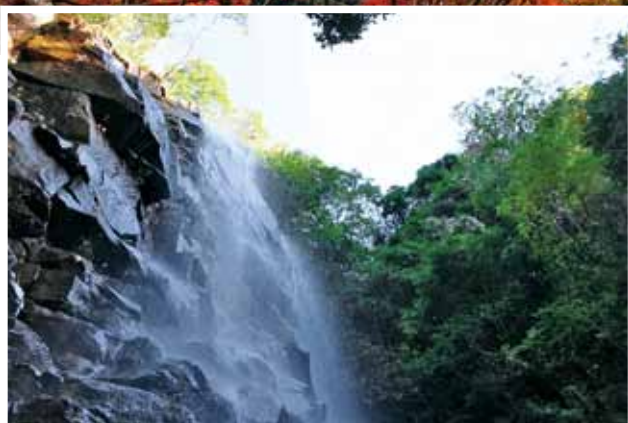
<http://www.city.higashihiroshima.lg.jp/shgikai/index.html>

東広島市議会

検索



耳マーク



深山峡の山奥にある姫ヶ滝

深山峡は、江戸時代の漢学者頼山陽が「安芸の耶馬溪」と呼んで絶賛した風光明媚な渓谷。

山の奥に分け入ると姫ヶ滝がある。姫ヶ滝には、平家の落ち武者の娘が好きな若者と駆け落ちしたが、追っ手に追われてこの地へ逃げ、この滝に身投げしたという伝説がある。

市議会だより

■発行／東広島市議会
■編集／広報広聴委員会
〒739-8601
東広島市西条栄町8番29号
TEL.082-420-0966
FAX.082-424-9465
(議会事務局)

<http://www.city.higashihiroshima.lg.jp/shgikai/index.html>



Editor's postscript

編集後記

平成29年新春を迎えて

平成29年元旦、私の新年は龍王山初日登頂で幕を明けました。大変穏やかな天候で、素晴らしい初日を浴びて酒蔵の煙突が立ち並び西条の町並みはまぶしく輝いていました。国の施策である「地方創生」の流れを受け、人口20万人をめざし成長し続ける東広島市が、未来へ西のように羽

ばたき続け、この一年が市民の皆さまにとって平和で幸多き年となりますよう願うところであります。広報広聴委員会としましても市民の皆さまへ、市議会だよりを通じてたくさんの議会情報を発信し続けてまいりますので、今後ともよろしくお願いたします。

岡田 育三

■ご意見ご感想をお寄せください
市議会だより、東広島市議会ホームページ
に関するご意見ご感想は東広島市議会事務局
(左記)までお寄せください。